

東部I地区再編案

資料5-I

I 地区内児童・生徒数の推移

		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	2041年	2042年	2043年	2044年	2045年	2046年	2047年	2048年	2049年	2050年	2051年	2052年	2053年	2054年	2055年	2056年	2057年	2058年	2059年
河辺小学校区	児童数	332	331	322	301	281	266	271	276	283	303	320	340	345	349	353	354	353	352	348	345	340	336	332	322	315	308	298	287	277	267	258	250	243	237	233
	学級数	12	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
霞台小学校区	児童数	363	417	406	366	327	300	275	261	246	250	263	264	265	270	275	277	281	285	288	293	294	297	300	302	302	300	297	291	287	279	273	265	258	250	243
	学級数	13	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
若草小学校区	児童数	369	368	353	338	319	328	330	339	350	362	380	388	393	401	404	407	411	411	412	409	407	405	401	393	386	376	365	354	340	327	319	309	301	291	285
	学級数	14	15	14	13	12	13	14	15	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	16	15	14	14	12	12	12	12	12	12
合計	児童数	1064	1116	1081	1005	927	894	876	876	879	915	963	992	1003	1020	1032	1038	1045	1048	1048	1047	1041	1038	1033	1017	1003	984	960	932	904	873	850	824	802	778	761
	学級数	36	42	42	36	36	30	30	30	30	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	30	30	30	30	30	30

霞台中学校区	生徒数	261	308	314	312	315	287	269	251	243	236	204	186	204	238	270	276	280	282	282	282	282	282	281	276	272	267	264	262	255	247	239	231	223	216	
	学級数	9	12	12	12	12	11	10	9	9	9	8	7	8	9	10	11	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
泉中学校区	生徒数	325	370	357	371	381	380	368	333	316	285	260	259	260	274	266	270	276	282	285	290	292	296	301	304	306	306	306	306	304	298	290	283	275	268	
	学級数	9	14	13	14	14	14	13	12	12	11	10	10	10	10	9	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10		
合計	生徒数	586	678	671	683	696	667	637	584	559	521	464	445	464	512	536	546	556	564	567	572	574	578	583	585	582	578	573	570	568	559	545	529	514	498	484
	学級数	21	24	24	24	24	24	24	21	21	18	18	15	18	18	18	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	18	18	18	18	

※網掛け部は望ましい規模を満たしていない状況、太枠太字部は学校施設の築70年となる年を表す。

※各学校区内の児童・生徒数の推移を表す。2025年については在籍児童・生徒数の実数を表す。

2 学校の規模について

- ・2059年までの望ましい規模の維持

河辺小学校	霞台小学校	若草小学校	霞台中学校	泉中学校
○	○	○	○	○

3 通学区域について（現状）

- ・小学校4km、中学校6km圏内

河辺小学校	霞台小学校	若草小学校	霞台中学校	泉中学校
○	○	○	○	○

4 小中一貫教育について（現状）

- ・小学校からの進学中学校

第四小学校（一部）	→	霞台中学校
河辺小学校		
若草小学校（一部）		
若草小学校（一部）	→	泉中学校
霞台小学校		

5 再編案

(1) 期待する効果が得られない、または達成困難な再編案

α案 霞台中学校と泉中学校を再編し1校の中学校とする。

- ・生徒数の規模から、2059年は1つの中学校にしても望ましい規模の範囲となるが、霞台中学校の築70年となる2043年では大規模となってしまう。
→地区内で中学校2校が必要。

		2043年	2059年
霞台中学校区	生徒数	282	216
	学級数	12	9
泉中学校区	生徒数	285	268
	学級数	12	10
合計	生徒数	567	484
	学級数	21	18

b案 既存の小学校を存続させるために学区域の調整を行うとともに、中学校への進学先を同一とする。

- ① 東部1地区の児童数の合計が2059年では761人となり、3校を存続するとして1校平均254人（1校12学級）となり、望ましい規模を満たすことができる。
- ② 同一の小学校から同一の中学校へ進学するため、学区域を調整しても中学校では望ましい規模を維持することができない。
 - ・河辺小学校と若草小学校を霞台中学校区とし、霞台小学校を泉中学校区とした場合、霞台中学校は望ましい規模維持できるが泉中学校は望ましい規模を維持できない。
 - ・河辺小学校を霞台中学校区とし、若草小学校と霞台小学校を泉中学校区とした場合、泉中学校は望ましい規模維持できるが霞台中学校は望ましい規模を維持できない。
- ③ 第三小学校区と霞台小学校区の調整により3校を望ましい規模で維持できる可能性はあるが、通学区域の弾力化による距離要件の影響を受ける可能性が強い。
→東部1地区内のみでの学区調整では、小学校3校を望ましい規模を維持したまま、小学校区域と中学校区域を同一とすることは困難である。

			2059年	→	①			再編後		②			再編後	→				再編後		②'			再編後	→				再編後
河辺小学校区	児童数	233	→		河辺小学校区	児童数	254			河辺小学校区	児童数	240	→		霞台中学校区	生徒数	305			河辺小学校区	児童数	281	→		霞台中学校区	生徒数	179	
	学級数	12				学級数	12				学級数	12				学級数	12				学級数	12				学級数	6	
若草小学校区	児童数	285			若草小学校区	児童数	253			若草小学校区	児童数	240								若草小学校区	児童数	240						
	学級数	12				学級数	12				学級数	12									学級数	12						
霞台小学校区	児童数	243	→		霞台小学校区	児童数	254			霞台小学校区	児童数	281	→		泉中学校区	生徒数	179			霞台小学校区	児童数	240	→		泉中学校区	生徒数	305	
	学級数	12				学級数	12				学級数	12				学級数	6				学級数	12						
合計	児童数	761			合計	児童数	761			合計	児童数	761								合計	児童数	761						
	学級数	30				学級数	30				学級数	30									学級数	30						

(2) 詳細に検討する再編案

A案 若草小学校校区を河辺小学校区と霞台小学校区へ再編する。

【再編案の考え方】

- ・小中一貫教育推進のため、小学校からの進学先の統一を行う。
- ・地区内の小学校は2校、中学校は2校とする。

【再編方法】

- ① 第四小学校から霞台中学校への進学する地域は吹上小学校の学区域とし、中央地区の中学校への進学とする。
 - ・学区域の調整(河辺7町丁目を泉中学区から霞台中学区へ変更)
- ② 河辺小学校の建て替えに合わせて、若草小学校を河辺小学校と霞台小学校に再編する。(河辺小学校が築70年を迎える2040年までに)
 - ・河辺町7・9・10丁目を河辺小学校区に変更する。
 - ・河辺町8丁目・新町1・3丁目を霞台小学校区に変更する。
 - ・河辺小学校と霞台中学校を施設分離型の小中一貫校とする。
 - ・霞台小学校と泉中学校にて施設隣接型小中一貫校とする。
- ③ 霞台中学校の建て替え(霞台中学校が築70年を迎える2043年までに)
- ④ 霞台小学校の建て替え(霞台小学校が築70年を迎える2044年までに)
- ⑤ 泉中学校の建て替え(泉中学校が築70年を迎える2053年までに)

【再編後の学校規模】

		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	2041年	2042年	2043年	2044年	2045年	2046年	2047年	2048年	2049年	2050年	2051年	2052年	2053年	2054年	2055年	2056年	2057年	2058年	2059年			
河辺小学校区	児童数	332	331	322	301	281	266	271	276	283	303	320	340	345	349	353	508	509	508	504	500	494	489	484	471	461	450	436	420	406	391	378	366	356	346	340			
	学級数	12	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	12	12	12			
霞台小学校区	児童数	363	417	406	366	327	300	275	261	246	250	263	264	265	270	275	530	536	540	544	547	547	549	549	546	542	534	524	512	498	482	472	458	446	432	421			
	学級数	13	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	18	18	24	24	24	24	24	24	24	24	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18			
若草小学校区	児童数	369	368	353	338	319	328	330	339	350	362	380	388	393	401	404																							
	学級数	14	15	14	13	12	13	14	15	16	17	18	18	18	18	18																							
霞台中学校区	生徒数	261	308	314	312	315	287	269	251	243	236	204	186	210	240	265	270	274	276	277	278	278	279	280	280	277	273	269	267	265	259	251	244	237	228	221			
	学級数	9	12	12	12	12	11	10	9	9	9	8	7	9	9	9	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9			
泉中学校区	生徒数	325	370	357	371	381	380	368	333	316	285	260	259	214	225	218	222	227	232	234	238	240	243	247	250	251	251	251	251	251	250	245	238	232	226	220			
	学級数	9	14	13	14	14	14	13	12	12	11	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9			

【再編における効果】

項目	適正規模	適正配置	小中一貫教育
効果	◎	◎	○
内容	2059年まで望ましい規模を維持できる	徒歩30分程度以内での通学が可能となる。	施設隣接型小中一貫校1校、施設分離型小中一貫校1校となる。

B案 若草小学校区を河辺小学校区と霞台小学校区へ再編し、施設一体型小中一貫校とする。

【再編案の考え方】

- ・小中一貫教育推進のため、小学校からの進学先の統一を行う。
- ・地区内で施設一体型小中一貫校を2校とする。

【再編方法】

- ① 第四小学校から霞台中学校への進学は学区域の変更により、中央地区の中学校への進学とする。
 - ・学区域の調整(河辺7町丁目を泉中学区から霞台中学区へ変更)
- ② 河辺小学校の建て替えに合わせて、若草小学校を河辺小学校と霞台小学校に再編し、霞台中学校を河辺小学校へ再編する。(河辺小学校が築70年を迎える2040年までに)
 - ・河辺町7・9・10丁目を河辺小学校区に変更する。
 - ・河辺町8丁目・新町1・3丁目を霞台小学校区に変更する。
 - ・河辺小学校と霞台中学校を東部Ⅰ地区施設一体型小中一貫校①とする。
- ③ 霞台小学校の建て替えに合わせて、泉中学校と施設一体型小中一貫校(東部Ⅰ地区施設一体型小中一貫校②)とする。(霞台小学校が築70年を迎える2044年までに)

【再編後の学校規模】

		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	2041年	2042年	2043年	2044年	2045年	2046年	2047年	2048年	2049年	2050年	2051年	2052年	2053年	2054年	2055年	2056年	2057年	2058年	2059年		
河辺小学校区	児童数	332	331	322	301	281	266	271	276	283	303	320	340	345	349	353																						
	学級数	12	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12																						
霞台小学校区	児童数	363	417	406	366	327	300	275	261	246	250	263	264	265	270	275	530	536	540	544																		
	学級数	13	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	18	18	24	24																		
若草小学校区	児童数	369	368	353	338	319	328	330	339	350	362	380	388	393	401	404																						
	学級数	14	15	14	13	12	13	14	15	16	17	18	18	18	18	18																						
霞台中学校区	生徒数	261	308	314	312	315	287	269	251	243	236	204	186	210	240	265																						
	学級数	9	12	12	12	12	11	10	9	9	9	8	7	9	9	9																						
泉中学校区	生徒数	325	370	357	371	381	380	368	333	316	285	260	259	214	225	218	222	227	232	234																		
	学級数	9	14	13	14	14	14	13	12	12	11	10	10	9	9	9	9	9	9	9																		
東部Ⅰ地区 施設一体型 小中一貫校①	児童数																508	509	508	504	500	494	489	484	471	461	450	436	420	406	391	378	366	356	346	340		
	学級数																18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	12	12	12		
	生徒数																270	274	276	277	278	278	279	280	280	277	273	269	267	265	259	251	244	237	228	221		
	学級数																12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	9	9	9	9	9	9	9	9	9			
東部Ⅰ地区 施設一体型 小中一貫校②	児童数																				547	547	549	549	546	542	534	524	512	498	482	472	458	446	432	421		
	学級数																				24	24	24	24	24	24	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
	生徒数																				238	240	243	247	250	251	251	251	251	251	250	245	238	232	226	220		
	学級数																				9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9		

【再編における効果】

項目	適正規模	適正配置	小中一貫教育
効果	◎	◎	◎
内容	2059年まで望ましい規模を維持できる	徒歩30分程度以内での通学が可能となる。	施設一体型小中一貫校2校となる。